

文化芸術活動基盤強化基金 クリエイター等育成支援（コンテンツ制作・発信を支える中核的専門人材育成・確保等）

団体名	特定非営利活動法人映像産業振興機構
プロジェクト名	HOLA, MANGA! 日本語からスペイン語へのマンガ翻訳者育成プロジェクト

基本情報

対象分野	マンガ	対象となる職種	マンガ翻訳家（日本語からスペイン語への翻訳）
------	-----	---------	------------------------

プロジェクトの概要

約5億人の人口を擁するスペイン語圏では、日本のマンガの人気の高まり需要が急増する一方、日本語からスペイン語への高品質な翻訳者の不足が市場拡大への課題となっている。本プロジェクトではスペインの有力な翻訳会社DARUMA社と連携し、オンラインと実地を融合した次世代翻訳者＝「実践型マンガ翻訳スペシャリスト」の育成プログラムを実施。カリキュラムでは、言語的知識からAI活用、法的・就業ノウハウまで幅広く網羅。日本マンガの文化的文脈・作家性を損なわずに現地へ届ける体制を整え、スペイン語圏全域での日本マンガの流通を質・量の両面から加速させる。そして日本コンテンツの、グローバル展開へ向けた強固な基盤の構築を目指す。

具体的な人材ニーズ、またはニーズが生じる見込み



世界的な日本のマンガの人気のに伴い、世界的に新刊発行を加速させたい意向が高まっている。しかし一線で稼働できる翻訳者数は各言語で限定され、スペイン語圏でも翻訳リソースの逼迫が、発売遅延やクオリティ低下などを招く要因となることが懸念されている。本プロジェクトでは、

DARUMA社が把握している現地出版市場の状況に基づき、3年間で60名程度の即戦力翻訳者の育成を目指す。これにより現在市場で不足している日本マンガ翻訳者のニーズをある程度満たし、翻訳作品の供給量を一定割合まで補完。結果、公式版コンテンツ供給スピード向上と市場の健全な拡大が見込まれ、さらなる翻訳者のニーズ拡大に直結すると考える。

期待される成果や波及効果

本プロジェクトにより、スペイン語圏（スペインおよび中南米地域）での翻訳品質を底上げし、日本のマンガの魅力を正確に伝えることで、海外市場における日本のマンガの知的財産（IP）価値の最大化を図る。第一に、専門人材の育成により出版社が信頼して翻訳を依頼できる体制を構築し、公式版の競争力強化と海賊版抑制を通じて正規ビジネスを拡大させる。第二に、質の高い読書体験により日本文化への理解と親近感を醸成し、アニメや観光等の周辺産業へ波及効果をもたらす。また、それらの成果・波及効果の検証・活用により、広く文化芸術活動の活性化と持続可能な国際展開モデルの確立に寄与できる。

人材の育成・確保のための持続的な基盤の構築イメージ

本プロジェクトでは、単なる逐次通訳的な翻訳ではなく、日本のマンガ特有のメタデータ（擬音・擬態語、吹き出し内の構成やキャラクター特有の口調）を深く理解し、現地の読者層に最適化できる高度な専門性を備えた翻訳者を育成する。実務のフロントランナーであるDARUMA社の知見を活用し、日本の出版・制作現場が求める高い要求水準を体系的なスキルセットとして受講生に伝承。作品の文化的背景を正確に読み解く読解力と、現地市場に即した表現力を兼ね備えた人材を輩出することで、コンテンツ制作の高品質化を直接的に支援する。これにより、持続可能な海外展開を担う専門人材の供給源を構築する。



目標達成までのロードマップ（案）

1年目

プロジェクトの初動体制確立と
第1サイクル「OFF-JT(座学プログラム)」実施

- 7～9月：第1期(第1サイクル) 受講者募集
 - ・国内外 連携先構築
 - ・国内出版社へ「ON-JT(実習プログラム)」などへの協力打診
- 10月～3月：第1期生の「OFF-JT(座学プログラム)」40回/計60時間のオンライン講義実施
 - ・理論と知識の基盤を構築
- 7月～3月：次年度実施の「日本滞在レジデンシープログラム」(以降、レジデンシーと記載)と「ON-JT(実習プログラム)」の準備・調整

2年目

初年度成果の反映と高品質な育成サイクル展開

- 4～7月：第1期生の「レジデンシー」と「ON-JT(実習プログラム:実務翻訳演習)」実施
 - ・石川県での短期滞在研修により日本文化を直接的に体験・理解
 - ・首都圏マンガ関連施設等への訪問によりマンガ産業理解を促進
 - ・現役プロ翻訳家による直接指導のマンガ翻訳演習で実務スキルを底上げ
- 6～7月：第2期(第2サイクル) 受講者募集
 - ・国内外 連携先構築継続
- 9～3月：第2期生の「OFF-JT」実施(先期内容を大幅ブラッシュアップ)

3年目

全サイクルの完遂と3年間累計成果の結実

- 4～7月：第2期生の「レジデンシー」と「ON-JT」実施(先期内容を大幅ブラッシュアップ)
- 6～7月：第3期(第3サイクル) 受講者募集
- 9～3月：第3期生の「OFF-JT」実施(先期内容を更にブラッシュアップ)
- 12～3月：第3期生の「レジデンシー」と「ON-JT」実施(先期内容を更にブラッシュアップ)
 - ・年度内に第3期(第3サイクル)のプログラムを完遂～プロジェクト修了～総括
- 成果の確立：3年間で60名程度の即戦力翻訳者を輩出し、接続可能な翻訳者育成の国際展開モデル確立

実施体制（案）

●主幹団体：全体統括・事務局運営

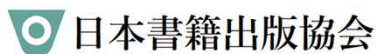


Visual Industry Promotion Organization
特定非営利活動法人 映像産業振興機構

DARUMA社と常に連携。事業全体の管理と共に、全体的な業務の統括と、事務局運営を担う

●国内連携先：プロジェクトおよび育成プログラムへの協力

■国内出版社



■IP、メディア関連企業



Japan Publishing Industry Foundation for Culture
一般財団法人 出版文化産業振興財団

●主要パートナー：プログラム開発・運営



DARUMA社 (Daruma Serveis Lingüístics)

主要パートナーとしてVIPOと常に連携。受講者募集から育成プログラムの開発・運営まで、主に現場実務全般を担う

●スペイン語圏連携先：

現地広報、プロジェクト告知、受講者募集活動協力

■現地日系文化機関 ■現地教育機関・企業（メディア、出版社等）